キャラクター名
フユネ　クロユリ（元の名前は桜小路　冬）

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	学生
オプショナル		年齢	16	性別	女
覚醒	無知	衝動	殺戮	初期侵食率	33 %
出自	名家生まれ	経験	記憶消失	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	4	1	2			7
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	25
行動値	15
(非装備時)	15
戦闘移動	20
全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	6		ＲＣ	1		交渉		
回避	2		知覚	2		意志			調達	3	
運転：			芸術：			知識：賢者の石	1		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ガン・オープン	射撃	7r+6		10		浸3 一般的な銃を作成{ハンドレットガンズ}
		0				一般的な銃の作成、仲間に渡せるとゆうのは便利
刃弾	射撃	9r+6	-2	10		浸4 {カスタマイズ} {コンセントレイト}銃
		0				銃が体と連結し銃弾は刃を出す

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

思い出の一品[懐中時計]	
思い出の一品[家族だと思われる人達の集合写真]	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
D;錬金術師	P　感服	N　嫌気		
賢者の石	P　憧憬	N　不安		
神城早月	P 親近感	N 無関心		
田宮　麻友	P 好奇心	N　嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	10	残り財産P：	6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
カスタマイズ	3	2	メジャー		武器	対決		
効果： ダイス＋Ｌｖ個								
コンセントレイト：モルフェウス	2	2	メジャー					
効果： クリティカル値-2								
ハンドレッドガンズ	7	3	マイナー	30m	自身	自動		
効果： 攻撃力＋10								
クリスタライズ	3	4	メジャー			対決	100	
効果： Lvx3[3]　装甲無視　シナリオ３回								
ギガンティックモード	1	3	メジャー	選択	武器	対決		
効果： 範囲（選択）に変更する								
魔弾の悪魔	2	4	オート	ー	自身	自動	リミット	
効果： 射撃判定達成値+10（ハンドレッドガンズのみ								
万能器具	1		メジャー					
効果： 大気にある物質つかって日常品炸裂								
無上厨師	1		メジャー					
効果： 大気にある物質を使って料理炸裂								
テクスチャーチェンジ	1		メジャー					
効果：								
壁抜け	1		メジャー					
効果： 名前通り								
急速分解	1		メジャー					
効果：								
効果：								
効果：								

元々桜小路とゆう結構な名家で生まれた事は知っている
だけど私にはその記憶がない、情報によるとそこには５人家族（父・母・長男・長女・次女）がいたらしい
私はその次女にあたるみたいだ。
[memory1「彼女の記憶」]
[＝＝＝＝＝＝（この時現在7才）＝＝＝＝＝]
私が最初にいた場所、それは路地裏の少し大きい段ボールの中
その時はたしか雨だった、雨といっても小雨くらいの雨だ。
私は周りを見渡した、その時は周りには誰もいない　だけど横の段ボールに小さい子猫が入っていた。
私はその子猫のダンボールには「捨て猫です、だれか拾ってあげてください」そう書いてあった。
私も捨てられたのかな、そう思った

だけど　　私　　はなんでここにいるんだろう　　私　は　　誰だ？

自分の名前も家族も覚えてない思い出せない記憶障害って奴なのかな　わからない

ふと私は手元を見ると少し汚れた家族だと思う人の写真があった
その中には私の顔がありなんとなくその人達が家族だなって事を思ったのだ
それ以外は服と財布、財布の中には数十万と親だと思われる人の免許書　それにクレジットカード、キャッシュカードもあり
一人で生きていくには少し足りないけどしばらくは平気な額が入っていた。
親だと思われる人の名前は桜小路　柔ゐ？なんて読むんだ？
私は桜小路とゆう家系の人間って事はこの時に知ったのだ。